

マーケットセグメンテーションによる 中学校のダンス指導の検討

A study on the market segmentation of dance teaching methods for the junior high school students

石川 織江¹⁾ 畑 攻²⁾ 八丁 茉莉佳³⁾

Orie ISHIKAWA, Osamu HATA and Marika HATCHO

Abstract

The purpose of this study was to investigate student's dance behavior in junior high school from the view point of the market segmentation.

This study was employed a specially designed questionnaire which were consisted of general demographics, sports behavior and feelings about the dance. Samples were gathered from junior high school students.

Multivariate statistical procedure such as quantification method third-type, and adequate statistical test were applied. The following results were obtained.

1. Three positive segments by the characteristic of the student were found. The correspondence that filled each student was shown to be important.
2. Single market segment of feelings about the dance. As for the target junior high student, the stance for the dance is undifferentiated immaturity. The dance education of the junior high school can ask about what I hide big possibility.
3. The marketing approach becomes more and more important in various dance teaching including a class. A possibility of making the careful correspondence by a positive market segmentation like this study show in particular was suggested.

It was shown that the examination by the market segmentation such as this study was method that was very effective to catch the characteristic of the people who sports.

Keywords : *Market Segmentation, Sports Management, Dance, Student*

I. 緒 言

スポーツマネジメントの分野では、スポーツ活動やスポーツ行動を対象とした研究において、宇土(1988)¹⁾による運動者行動論を原点とした、運動やスポーツに関わる人の特性や行動分析が基本的な研究の方法として用いられる。本研究では、宇土(1988)¹⁾の伝統的な運動者行動論に依拠し、中学生の基本特性、スポーツ特性、ダンス観の関連性の視点から分析・考察を進めていくことが基本となる。さらに、中学生の諸特性の基礎分析をもとに、共通性やパターン化を試みるマーケットセグメンテーション¹⁹⁾の視点から、生徒を類型化し、分析・考察を進めることも重要となる。

マーケットセグメンテーション¹⁹⁾とは、市場細分化の手法である。マーケット内に存在する個人の特性やニーズなど消費者の類似性にしたがってマーケットをいくつかのグループに分割するプロセスである。顧客のニーズが多様化、複雑化している現在、顧客のニーズにあった商品を提供していくのに効率的な方法である。

Hataら(1995)³⁾は、一般のフィットネスクラブ利用者を対象とした事例研究において、「スイミングパターン」、「ダンス&コミュニケーションパターン」、「ファッションナブルパターン」、「マシントレーニングパターン」という4つの明確な利用者のパターンを明らかにし、考察を進めている。まさにそれは、セグメンテーションであり、それぞれのセグメント(客層)に応じたアプローチの有効性を示唆するものである。

さらに、畑ら(1985)²⁾は、学校授業に関するマーケ

1) 慶應義塾幼稚舎(非常勤講師)

2) 日本女子体育大学(教授)

3) 日本女子体育大学(助手)

ティング研究として、中学生の選択制授業における態度パターンによるマーケットセグメンテーション的研究を行い、スポーツ活動に対する態度を手がかりとした運動者行動の解明により有効な運動者の類型化を試みている。その結果、「期待・欲求」、「自信」の2軸から4つの態度パターンを明らかにし、そのパターンが、選択制授業における生徒の固有な行動を特徴づける有効なセグメントであり、試みた態度パターンによるセグメントが妥当であったことが示された。授業に対するマーケットセグメンテーションの視点から生徒と学習活動の関係を分析・考察することが重要であり、ビジネスの分野だけではなく、教育の分野においてもマーケティングが必要であることを示唆している。

ダンスをめぐる様々な活動について、教育の現場においては、学習指導要領改訂¹³⁾に伴い、中学校保健体育においてダンスが必修化された。文部科学省¹⁴⁾によると、ダンスは、仲間とのコミュニケーションや自己表現の楽しさや喜びを味わってもらうことを重視する運動とされている。様々なタイプの生徒が混在する現代の中学生に対し、どのように授業を展開していくのかについては、検討すべき問題の一つであると考えられる。

一方で、近年、若者を中心とした、ストリートダンスをはじめとした様々な活動が行われてきている。ストリートダンスとは、その名の通り、路上で踊られることから発生したダンスのことであり、HIPHOP、BREAKIN'などのダンスの総称をいうものである¹⁾。スポーツブランドによるダンスに特化したウェアやスニーカーの開発¹⁸⁾など、踊らなくともダンスに興味を持つ人が増え、人々にとってダンスが身近な存在になってきているのではないかと考えられる。このようなダンスの多様化や社会環境の変化に伴い、ダンスは世間で注目されつつある活動の一つとなっている。

中学生にとってのダンスは、あくまでも学校の授業が中心ではあるが、その他にも、行事でのダンス、習い事としてのダンスレッスンやストリートで自由に踊ることなども、広くダンスの機会であると考えられる。そこで本研究では、それぞれのダンスの目的や場所などにとらわれずに様々なダンスの場に共通する指導という側面に着目をした。

ダンスに対するマネジメントの分野での先行研究では、小野里ら(2014)¹⁶⁾による舞踊学専攻学生を対象とした運動者行動に関する研究が挙げられる。また、石川ら(2015)¹⁰⁾はストリートダンサーという運動者に焦

点を当て、ダンサーの特性パターンやライフスタイルのパターンを明らかにしている。しかしながら、学校体育授業におけるマネジメント研究においてダンスに着目した研究は、ほとんど報告されていないのが現状である。

ダンスの授業やレッスンにおいて、指導案に則ったプログラムの展開は当然のことであるが、生徒やレッスン生のニーズに合ったプログラムを検討していくことも重要な課題である。対象者のニーズを知るためには、マーケティングの必要性、明確なセグメンテーションの必要性があると考えられる。

そこで本研究では、以下の3点を目的とする。

- (1) スポーツ消費者・運動者としての生徒の諸特性を明らかにする
- (2) 諸特性やダンス観によるセグメンテーションを試みる
- (3) 特徴的なセグメントに対応するダンス指導及びマネジメントのポイントを考察する

II. 研究方法

1. 基本的なアプローチ

本研究では、宇土(1988)¹⁷⁾の伝統的な運動者行動論の視点から、中学生の諸特性を分析・考察した。さらに、基本特性やスポーツ特性としての共通性やダンス観のパターン分類を試みるといった視点から検討を行うために、それらを複合的・多変量的に分析し、結果の考察を行った。これらの分析結果を用いて、基本特性・スポーツ特性、ダンス観における特徴的なセグメントの抽出及びダンス指導のマネジメントポイントを検討した。研究を進めるにあたり、子どもの運動・体育授業に関する先行研究や関連のダンスに関する先行研究を踏まえ、調査項目を設定し、千葉県に所在する中学校の生徒を対象にアンケート調査を実施した。

2. 調査の実施と分析の手順

(1) 調査項目の設定

調査項目は、前田ら(2007)¹²⁾による子どもスポーツに求められるマネジメントの研究や林ら(2009)⁴⁾による小学生を対象とした運動の習熟に関する研究など、子どもの運動・体育授業に関する先行研究と石川ら(2011⁵⁾, 2012⁶⁾, 2012⁷⁾, 2013⁸⁾, 2014⁹⁾)によるストリートダンサーを対象とした運動者行動研究や関連のダンスに関する先行研究¹¹⁾¹⁵⁾を踏まえ、基本特性(性別、学

年), スポーツ特性, ダンス観に関する項目を設定した。スポーツ特性に関しては, 体育授業の好き嫌いや体力の自信の設問に加え, 体育の授業で好きな種目・嫌いな種目, 現在のスポーツ活動状況から項目を設定した。また, ダンス観については, ダンスの好き嫌い, 魅力, やってみたいダンス, 意欲などの視点から17項目を設定し, 「非常に思う」から「全く思わない」までの5段階評定尺度で回答を求めた。

(2) 調査概要及び分析の手順

千葉県に所在する公立中学校1校の生徒を対象に質問紙によるアンケート調査を実施した。調査期間は2014年7月で, 1年生67名, 2年生74名, 3年生73名, 計214名の回答を得た。また, 性別は, 男子109名, 女子105名であった。対象とした学校では, ダンスの授業は, 1年生の後期で必修, 3年生の前期で選択となっており, 創作ダンスが行われている。また, 体育授業は男女別習という特徴がある。

得られたデータに対し, 統計ソフト SPSS17.0ver.を用いて, 基礎集計, 基本統計, 記述統計, クロス分析を行い, 必要に応じてF検定(分散分析), 多重比較(Ryan法)を用いて統計的有意性を確認した。さらに, Excel 数量化理論 Ver. 4.0ソフトを用いて数量化Ⅲ類により対象者の基本特性やスポーツ特性, ダンス観をパターン分類した。これらの分析を用いて, 結果を考察した。

Ⅲ. 結 果

1. 対象とした中学生の特性

(1) スポーツ特性

表1は, 生徒のスポーツ特性を示したものである。体育授業の好き嫌いでは, 「好き」が52.3%で半数以上を占めており, 「どちらかと言えば好き」の35.5%を合わせると約9割の生徒が体育好きであることを示す結

表1 対象とした中学生のスポーツ特性

	男子 n=109		女子 n=105		全体 N=214	
	f	%	f	%	f	%
体育授業						
<u>好き</u>	66	60.6	46	43.8	112	52.3
<u>どちらかと言えば好き</u>	36	33.0	40	38.1	76	35.5
どちらかと言えば嫌い	5	4.6	13	12.4	18	8.4
嫌い	2	1.8	6	5.7	8	3.7
体力の自信						
ある	25	22.9	7	6.7	32	15.0
<u>どちらかと言えばある</u>	34	31.2	36	34.3	70	32.7
<u>どちらかと言えばない</u>	37	33.9	32	30.5	69	32.2
ない	13	11.9	30	28.6	43	20.1
現在のスポーツ活動						
体育の授業以外ではあまり運動していない	19	18.4	38	40.0	57	28.8
<u>学校の運動部活動に参加している</u>	70	68.0	41	43.2	111	56.1
学校外のクラブやチームに所属している	12	11.7	5	5.3	17	8.6
学校外の教室やレッスンに通っている	2	1.9	11	11.6	13	6.6
体育授業で好きな種目						
	①サッカー		①ダンス		①サッカー	
	②バスケットボール		②サッカー		②バスケットボール	
	③ダンス, 陸上		③マット運動		③ダンス	
体育授業で嫌いな種目						
	①長距離走		①長距離走		①長距離走	
	②マット運動		②マット運動		②マット運動	
	③跳び箱, 水泳		③跳び箱		③跳び箱	

※男女ともに30%以上の回答があった項目を強調下線で表示

果であった。男子の回答をみても、「好き」、「どちらかと言えば好き」を合わせると体育好きな生徒が9割以上を占める結果となった。女子は、「好き」、「どちらかと言えば好き」を合わせると約8割であり、男子に比べると体育好きがやや少ないことを示した。体力の自信は、「どちらかと言えばある」が32.7%、「どちらかと言えばない」が32.2%であり、「ある」、「ない」の断定的な回答よりも、「どちらかと言えば」という曖昧な回答をしている生徒が多いことを示す結果となった。男女別の結果をみても全体と同じような傾向にあったが、体力の自信について、「ある」と回答した生徒は、男子22.9%に対し、女子は6.7%であり、女子は体力に自信がある生徒が極めて少ないことを示した。現在のスポーツ活動は、男女ともに学校の運動部活動に参加している者が多く、男子が68.0%、女子が43.2%を示した。体育の授業以外ではあまり運動していないという生徒は男子が18.4%、女子が40.0%であり、女子に関しては、運動部参加者とほぼ同じ程度の割合を示しており、あまり運動に関わっていない生徒も多いことを示す結果となった。体育授業で好きな種目は、男女で回答に違いがみられたものの、「サッカー」、「ダンス」がともに人気があることを示した。嫌いな種目に関しては、「長距離走」が最も多く、「マット運動」、「跳び

箱」と続き、器械体操もあまり人気がないことを示した。

(2) ダンス観

表2は、生徒がダンスについてどのように考えているのかについてのダンス観を示したものである。やってみようとするダンスに関しては、男女ともに、「EXILEが踊っているようなダンスをやってみよう」の項目に高い反応を示した。一方、低い反応を示した項目は、「クラシックバレエをやってみよう」、「AKB48が踊っているようなダンスをやってみよう」であり、男子では「チアリーディングのようなダンスをやってみよう」、女子では「日本舞踊をやってみよう」の項目についても低い反応を示した。中学生は、伝統的なダンスや女性アイドルのようなダンスよりも、現代的なリズムのダンスを好む傾向にあることが示された。また、ダンスの魅力に関しては、男女ともに、「自由に身体を動かすことが楽しい」、「リズムに合わせて踊ることが楽しい」、「みんなと一緒に踊るのが楽しい」の項目に高い反応を示しており、仲間と一緒に自由な感覚でダンスを楽しむことを好む傾向にあることを示す結果となった。

2. 対象とした中学生のパターン分類

ここでは、生徒の諸特性の関連性や類似性をより具

表2 対象とした中学生のダンス観

	男子 n=109		女子 n=105		全体 N=214	
	M	SD	M	SD	M	SD
ダンスが好き	3.22	1.272	3.73	1.094	3.47	1.213
<u>みんなと一緒に踊るのが楽しい</u>	<u>3.39</u>	1.186	<u>3.90</u>	1.028	<u>3.64</u>	1.137
<u>自由に身体を動かすことが楽しい</u>	<u>3.76</u>	1.118	<u>3.92</u>	1.166	<u>3.84</u>	1.142
自分で考えて踊ることが楽しい	3.08	1.187	3.49	1.115	3.28	1.168
<u>リズムに合わせて踊ることが楽しい</u>	<u>3.44</u>	1.194	<u>3.87</u>	1.110	<u>3.65</u>	1.170
振付を覚えることが楽しい	3.28	1.261	3.78	1.092	3.52	1.205
自分たちで作品を作っていくダンスをやってみよう	2.93	1.230	3.27	1.225	3.09	1.236
世界各地で踊られているダンスをやってみよう	2.95	1.189	3.18	1.121	3.07	1.160
<u>EXILEが踊っているようなダンスをやってみよう</u>	<u>3.39</u>	1.388	<u>3.48</u>	1.359	<u>3.43</u>	1.371
安室奈美恵が踊っているようなダンスをやってみよう	2.45	1.258	3.23	1.361	2.83	1.363
AKB48が踊っているようなダンスをやってみよう	2.20	1.275	2.90	1.285	2.54	1.324
チアリーディングのようなダンスをやってみよう	2.17	1.246	3.17	1.341	2.66	1.384
多くの人と一緒にやれるダンスをやってみよう	3.09	1.251	3.41	1.182	3.25	1.225
エクササイズダンスをやってみよう	2.64	1.221	3.00	1.240	2.82	1.241
クラシックバレエをやってみよう	2.32	1.162	2.52	1.161	2.42	1.163
日本舞踊をやってみよう	2.62	1.192	2.52	1.186	2.57	1.187
これからもダンスを踊りたい	3.01	1.351	3.66	1.159	3.33	1.298

※男女ともに平均値が3.30以上を示した項目を強調下線で表示

体的に検討するために数量化Ⅲ類を用いてパターン分類を行った。数量化Ⅲ類は、変数相互の関連性からいくつかのファクターを発見し、そのファクターを基準としてカテゴリー間やサンプル、すなわち個人間の類似性やポジショニングを明らかにする手法である。本研究では、生徒の基本特性・スポーツ特性及びダンス観項目のカテゴリースコアを用いてパターンを抽出し、さらに各サンプルがどのパターンにどのように分布するかを検討した。

(1) 生徒の基本特性・スポーツ特性のパターン分類

基本特性・スポーツ特性項目の相互の類似性を検討するためにカテゴリースコアを用いて数量化Ⅲ類による分析を行った。表3はこれらの項目のカテゴリースコアの値をそれぞれの軸ごとに示したものであり、図1は表3を図示した結果である。

図中において、左右を規定する横軸は、左方向にいくほど「体力がある」、「学校外のクラブやチームに所属している」、「体育授業が好き」と運動に積極的な生徒が分布をしている。一方、右方向にいくほど「体育授業が嫌い」、「体力がない」など、運動に消極的な生徒の分布がみられることから、左右の軸を「運動好き-運動嫌い」と解釈した。また、上下を規定する縦軸は、上方向にいくほど「学校外の教室やレッスンに通っている」、「3年生」、「体力がどちらかと言えない」など、学習に対して受け身であるような、自主的に学ぶ

というよりも習いたいというような意識をもつ生徒の層が分布をしている。一方、下方向にいくほど「体育授業が嫌い」、「1年生」、「体力がある」などの生徒の層が位置している。これらの層は、授業を受けるよりも自分で自由に学びたいというような生徒の層であることから、上下の軸を「学習・面倒見-自主・自発」と解釈した。

この結果、3つのパターンが抽出され、「学校外の教室やレッスンに通っている」、「女子」、「体力がどちらかと言えない」のようなカテゴリーで構成される、丁寧に教えてもらえれば頑張るといような生徒のグループである『優しく面倒を見て欲しい派』、「体力がある」、「学校の運動部活動に参加している」、「体育授業が好き」のようなカテゴリーで構成される、いわゆる野球部やサッカー部で中心となって活躍していると予想されるような生徒のグループである『自由にやらせて欲しい派』、「体力がない」、「体育授業が嫌い」のようなカテゴリーで構成される、課題をやらずにすぐに座ってしまう事も予想されるような生徒のグループである『あまり運動はやりたくない派』と命名した。

次に、対象者の個々の分布状況を把握するためにサンプルスコアを用いて分析した。図2は、生徒の基本特性・スポーツ特性によるパターン分類のカテゴリースコア空間に、全対象者のサンプルスコアを軸別に算出し、それぞれの座標に配置したものである。

表3 生徒の基本特性とスポーツ特性の軸別によるカテゴリースコア

【基本特性・スポーツ特性】	1軸	3軸
	<運動好き-運動嫌い>	<学習・面倒見-自主・自発>
男子	-0.770931069	-0.334762560
女子	0.830729438	0.363569073
1年生	-0.463432829	-1.331926028
2年生	0.218556884	-0.409990753
3年生	0.247560199	1.661150593
体育授業好き	-1.016413655	0.076894691
体育授業どちらかと言えば好き	0.654552451	0.838328206
体育授業どちらかと言えば嫌い	2.414420016	-2.002686768
体育授業嫌い	2.978485909	-4.323894195
体力ある	-1.713869644	-1.068881150
体力どちらかと言えばある	-0.763060933	0.638533264
体力どちらかと言えない	0.264803778	0.876404923
体力ない	2.167017156	-1.611149714
体育の授業以外ではあまり運動していない	1.499871246	0.603332021
学校の運動部活動に参加している	-0.752830039	-0.688896384
学校外のクラブやチームに所属している	-1.325028880	-0.619472047
学校外の教室やレッスンに通っている	0.093932940	2.828916969

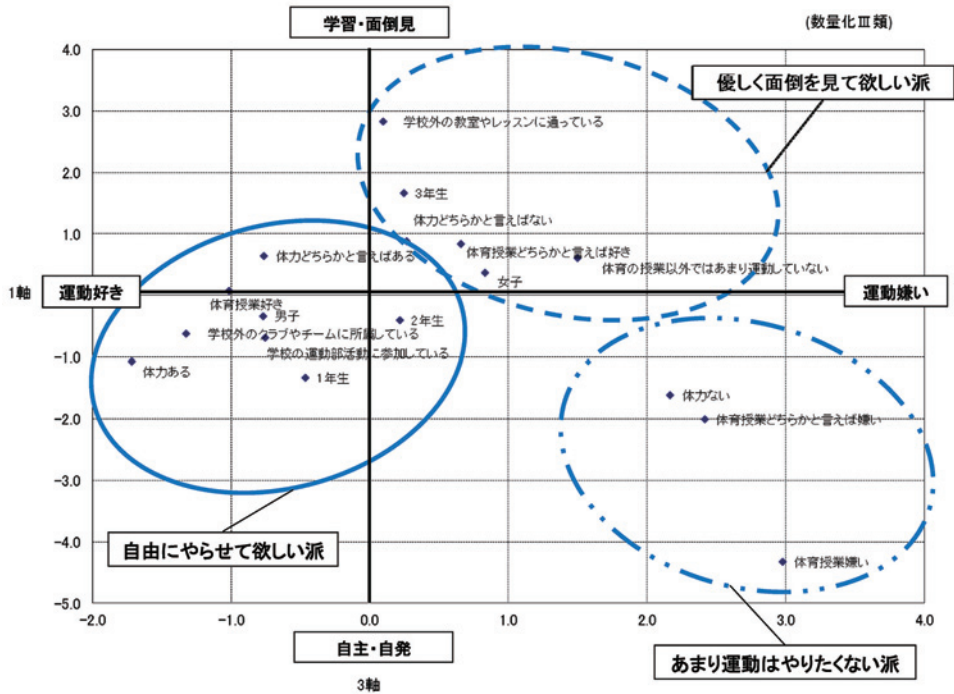


図1 生徒の基本特性とスポーツ特性のパターン分類 (カテゴリースコア)

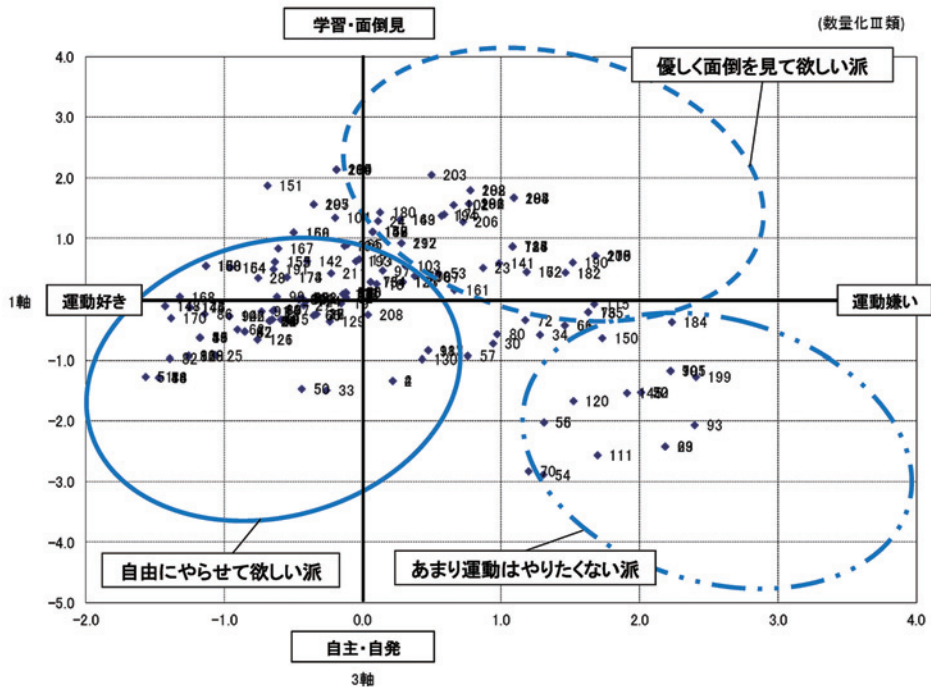


図2 生徒の基本特性とスポーツ特性のパターン分類 (サンプルスコア)

『自由にやらせて欲しい派』に関しては、サンプルスコアでみると『優しく面倒を見て欲しい派』や『あまり運動はやりたくない派』よりも多くのサンプルが集中している。この結果は、運動好きで、運動部の主力となり活躍しているような『自由にやらせて欲しい派』に属する生徒が多く、そのような生徒は、授業でも自分たちでどんどんやりたいことに取り組んでいることが推察された。また、『あまり運動はやりたくない派』は、やや少ない分布であったが、このようなあまり運動をやりたがらない生徒もわずかながらいることを示す結果となった。

(2) 生徒のダンス観のパターン分類

ここでは、ダンス観のカテゴリー相互の類似性を検討するためにカテゴリースコアを算出した。ダンス観の項目に関しては、5段階評定尺度で回答を求めているが、「非常に思う」と「思う」の4以上を1、それ以下を0のダミーデータに変換し、数量化Ⅲ類による分析を行った。表4は、これらの項目のカテゴリースコアの値を軸ごとに示したものであり、図3は、表4を図示した結果である。図中において、左右を規定する横軸は、左方向にいくほど「日本舞踊をやりたい」、「クラシックバレエをやりたい」、「AKB48が踊っているようなダンスをやりたい」など振付や型の決まっているダンスに意欲的である項目が分布をしている。一方、右方向にいくほど「自由に身体を動かす

ことが楽しい」、「リズムに合わせて踊ることが楽しい」など自由に表現することを好んでいることが伺える項目が分布していることから、左右の特徴を「型-自由」の軸であると解釈した。また、上下を規定する縦軸は、上方向にいくほど「日本舞踊をやりたい」、「クラシックバレエをやりたい」などの洗練された落ち着きのある踊りを好んでいることが伺える項目が分布をしている。一方、下方向にいくほど「AKB48が踊っているようなダンスをやりたい」、「チアリーダーのようなダンスをやりたい」などの賑やかなダンスを好んでいることが伺える項目の分布がみられることから、上下の特徴を「落ち着き-躍動」の軸であると解釈した。

これらの分布の結果、生徒のダンス観は、一部にばらつきのあるカテゴリーがみられたものの、一つのダンス観のパターンに集約される結果であった。

さらにダンス観のカテゴリースコアの分布から抽出されたパターンに対するサンプルスコアの分布について検討した。図4は、生徒のダンス観によるパターン分類のカテゴリースコア空間に、全対象者のサンプルスコアを軸別に算出し、それぞれの座標に配置したものである。その結果、ダンス観のカテゴリーから抽出された一つのパターンの中に一部のサンプルを除いて大部分のサンプルが位置づく結果であった。

表4 生徒のダンス観の軸別によるカテゴリースコア

【ダンス観】	1軸	2軸
	<型-自由>	<落ち着き-躍動>
ダンスが好き	0.135443173	-0.813679394
みんなと一緒に踊るのが楽しい	0.398752234	-0.493607626
自由に身体を動かすことが楽しい	2.181326619	1.582606984
自分で考えて踊ることが楽しい	0.037546603	-0.064806449
リズムに合わせて踊ることが楽しい	0.587651059	-0.197630788
振付を覚えることが楽しい	0.112316565	-0.212175966
自分たちで作品を作っていくダンスをやりたい	-0.267370117	0.136457497
世界各地で踊られているダンスをやりたい	-0.564923702	-0.175652355
EXILEが踊っているようなダンスをやりたい	0.072550488	0.044570280
安室奈美恵が踊っているようなダンスをやりたい	-0.812241437	-0.610651539
AKB48が踊っているようなダンスをやりたい	-1.316393024	-1.122088266
チアリーダーのようなダンスをやりたい	-1.095168076	-0.426188758
多くの人と一緒にやれるダンスをやりたい	0.168786762	-0.175499731
エクササイズダンスをやりたい	-1.143343005	0.017266826
クラシックバレエをやりたい	-1.386115312	0.552426657
日本舞踊をやりたい	-2.790299499	4.228747059
これからもダンスを踊りたい	0.094481499	-0.866247947

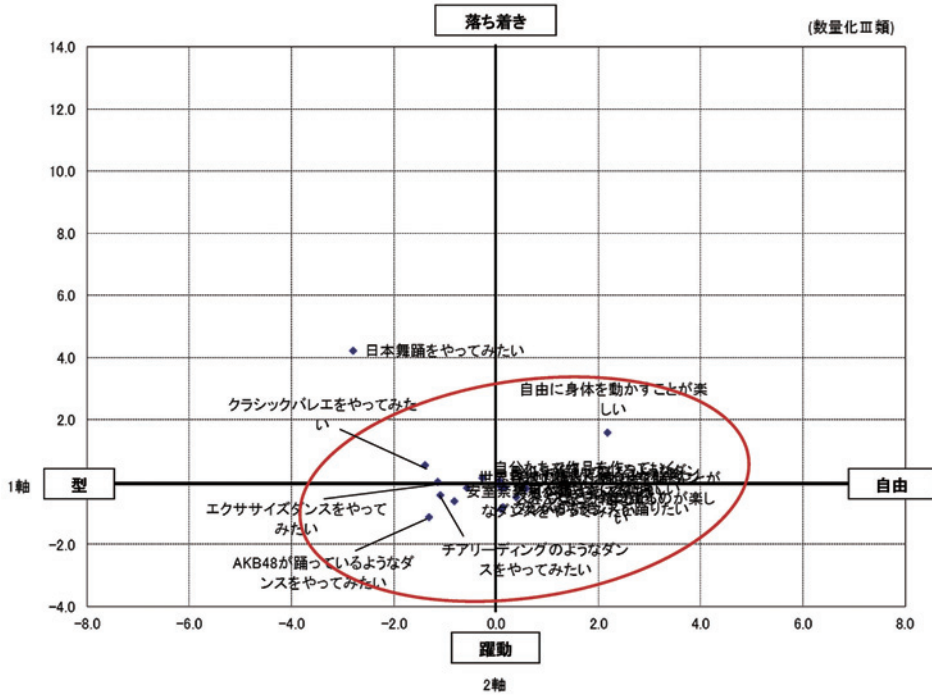


図3 生徒のダンス観のパターン分類（カテゴリースコア）

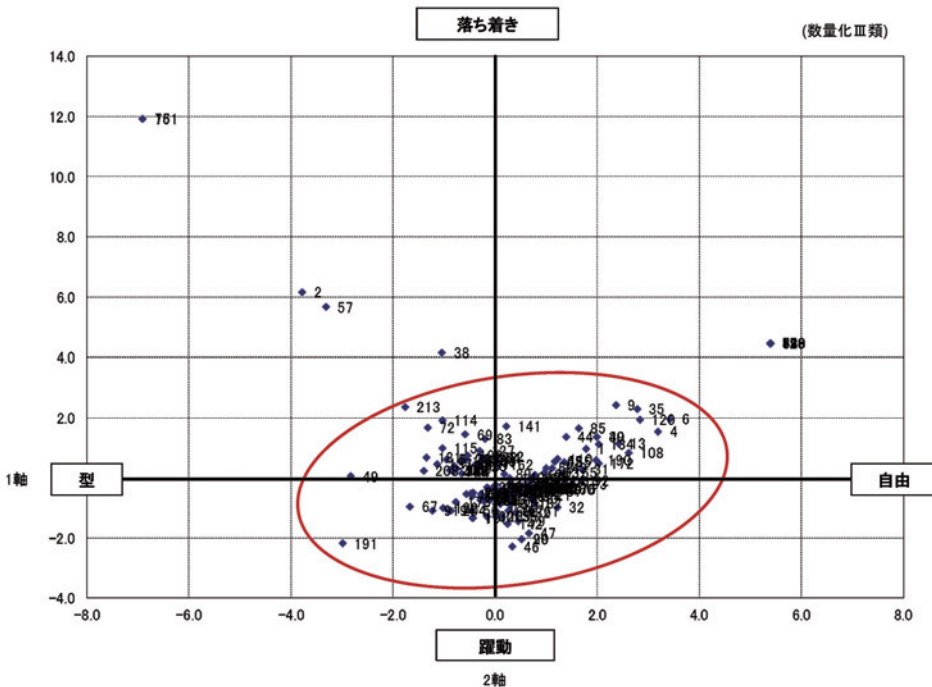


図4 生徒のダンス観のパターン分類（サンプルスコア）

3. 生徒のスポーツ特性からみたダンス観

表5は生徒のダンス観を現在のスポーツ活動状況別に示したものである。結果2-(2)から生徒のダンス観はまだ分化されておらず、単一なパターンが抽出された。しかしながら、スポーツ活動別にダンス観の平均値を比較した結果では、ダンス観は生徒のスポーツ活

動によって異なる傾向にあり、特に、運動部活動参加者はダンスの好き嫌い、魅力、意欲の項目に着目してみるとダンスへの意欲・関心が低い傾向にあることが示された。

表6・7はそのスポーツ活動によるダンス観の平均の比較を性別に示した結果である。男子において、「学

表5 生徒のスポーツ活動別によるダンス観

【ダンス観】	①体育の授業以外 ではあまり運動 していない n=57		②学校の運動部活 動に参加してい る n=111		③学校外のクラブ やチームに所属 している n=17		④学校外の教室や レッスンに通っ ている n=13		F 検定
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	
	ダンスが好き	3.77	0.945	3.14	1.232	3.82	1.286	4.54	
みんなと一緒に踊るのが楽しい	3.84	0.882	3.42	1.172	4.00	1.173	4.00	1.291	n.s.
自由に身体を動かすことが楽しい	3.72	1.161	3.80	1.115	4.00	1.118	4.54	0.967	n.s.
自分で考えて踊ることが楽しい	3.35	1.009	3.01	1.177	3.82	1.015	4.46	0.776	***
リズムに合わせて踊ることが楽しい	3.86	0.990	3.45	1.208	3.88	0.993	4.54	0.776	**
振付を覚えることが楽しい	3.68	0.967	3.30	1.276	4.00	1.061	4.23	1.013	*
自分たちで作品を作っていくダンスをやってみたい	3.18	1.151	2.95	1.237	3.24	1.437	3.85	0.987	n.s.
世界各地で踊られているダンスをやってみたい	3.19	1.172	2.88	1.107	3.35	1.169	3.77	1.363	n.s.
EXILEが踊っているようなダンスをやってみたい	3.32	1.352	3.27	1.407	4.18	0.951	4.23	1.013	*
安室奈美恵が踊っているようなダンスをやってみたい	3.02	1.329	2.64	1.313	2.82	1.590	3.69	1.316	n.s.
AKB48が踊っているようなダンスをやってみたい	2.67	1.200	2.46	1.347	2.76	1.348	2.00	1.472	n.s.
チアリーディングのようなダンスをやってみたい	2.88	1.402	2.46	1.360	2.76	1.437	3.08	1.498	n.s.
多くの人と一緒にやれるダンスをやってみたい	3.26	1.188	3.23	1.307	3.41	1.064	3.15	1.281	n.s.
エクササイズダンスをやってみたい	2.93	1.223	2.65	1.211	3.35	1.115	2.85	1.463	n.s.
クラシックバレエをやってみたい	2.60	1.033	2.29	1.163	2.35	1.272	2.54	1.561	n.s.
日本舞踊をやってみたい	2.74	1.173	2.47	1.151	2.71	1.263	2.92	1.441	n.s.
これからもダンスを踊りたい	3.58	1.068	3.01	1.325	3.82	1.380	4.38	1.044	***

***P<0.001, **P<0.01, *P<0.05

表6 生徒のスポーツ活動別によるダンス観（男子）

【ダンス観】	①体育の授業以外 ではあまり運動 していない n=19		②学校の運動部活 動に参加してい る n=70		③学校外のクラブ やチームに所属 している n=12		F 検定	多重比較 Ryan
	M	SD	M	SD	M	SD		
	ダンスが好き	3.89	0.875	2.91	1.248	3.75		
みんなと一緒に踊るのが楽しい	4.05	0.780	3.16	1.137	3.83	1.267	**	①>②
自由に身体を動かすことが楽しい	4.11	0.737	3.64	1.150	4.08	1.084	n.s.	
自分で考えて踊ることが楽しい	3.53	0.905	2.83	1.227	3.75	0.866	*	①③>②
リズムに合わせて踊ることが楽しい	4.11	0.809	3.22	1.223	3.83	1.030	*	①>②
振付を覚えることが楽しい	3.74	0.806	3.03	1.318	4.08	0.996	*	①③>②
自分たちで作品を作っていくダンスをやってみたい	3.32	1.057	2.80	1.246	3.08	1.379	n.s.	
世界各地で踊られているダンスをやってみたい	3.37	1.212	2.79	1.166	3.17	1.115	n.s.	
EXILEが踊っているようなダンスをやってみたい	3.95	0.970	3.11	1.450	4.08	1.084	*	①③>②
安室奈美恵が踊っているようなダンスをやってみたい	3.37	1.212	2.21	1.166	2.50	1.382	*	①>②③
AKB48が踊っているようなダンスをやってみたい	3.00	1.291	1.94	1.141	2.50	1.382	*	①>②
チアリーディングのようなダンスをやってみたい	2.89	1.329	1.96	1.160	2.50	1.382	*	①>②
多くの人と一緒にやれるダンスをやってみたい	3.37	1.116	2.99	1.346	3.42	0.900	n.s.	
エクササイズダンスをやってみたい	3.05	1.026	2.43	1.234	3.25	0.866	n.s.	
クラシックバレエをやってみたい	2.95	1.079	2.10	1.105	2.42	1.311	n.s.	
日本舞踊をやってみたい	3.05	0.911	2.50	1.248	2.67	1.155	n.s.	
これからもダンスを踊りたい	3.74	0.872	2.67	1.348	3.83	1.267	**	①③>②

**P<0.01, *P<0.05

表7 生徒のスポーツ活動別によるダンス観（女子）

【ダンス観】	①体育の授業以外 ではあまり運動 していない n=38		②学校の運動部活 動に参加してい る n=41		③学校外のクラブ やチームに所属 している n=5		④学校外の教室や レッスンに通っ ている n=11		F 検定	多重比較 Ryan
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD		
	ダンスが好き	3.71	0.984	3.51	1.121	4.00	1.000	4.82		
みんなと一緒に踊るのが楽しい	3.74	0.921	3.88	1.100	4.40	0.894	4.36	0.924	n.s.	
自由に身体を動かすことが楽しい	3.53	1.289	4.07	1.010	3.80	1.304	4.91	0.302	**	④>①②③
自分で考えて踊ることが楽しい	3.26	1.057	3.33	1.023	4.00	1.414	4.73	0.467	**	④>①②
リズムに合わせて踊ることが楽しい	3.74	1.057	3.83	1.093	4.00	1.000	4.82	0.405	*	④>①②③
振付を覚えることが楽しい	3.66	1.047	3.76	1.067	3.80	1.304	4.55	0.688	n.s.	
自分たちで作品を作っていくダンスをやってみたい	3.11	1.203	3.22	1.187	3.60	1.673	4.09	0.831	n.s.	
世界各地で踊られているダンスをやってみたい	3.11	1.158	3.05	0.986	3.80	1.304	4.09	1.136	*	③④>①②
EXILEが踊っているようなダンスをやってみたい	3.00	1.414	3.54	1.306	4.40	0.548	4.55	0.688	**	③④>①
安室奈美恵が踊っているようなダンスをやってみたい	2.84	1.366	3.37	1.240	3.60	1.949	3.91	1.300	n.s.	
AKB48が踊っているようなダンスをやってみたい	2.50	1.133	3.34	1.217	3.40	1.140	2.09	1.578	**	②③>①④
チアリーディングのようなダンスをやってみたい	2.87	1.455	3.32	1.254	3.40	1.517	3.36	1.433	n.s.	
多くの人と一緒にやれるダンスをやってみたい	3.21	1.234	3.66	1.132	3.40	1.517	3.36	1.206	n.s.	
エクササイズダンスをやってみたい	2.87	1.319	3.02	1.084	3.60	1.673	3.00	1.483	n.s.	
クラシックバレエをやってみたい	2.42	0.976	2.61	1.202	2.20	1.304	2.55	1.695	n.s.	
日本舞踊をやってみたい	2.58	1.266	2.41	0.974	2.80	1.643	2.82	1.537	n.s.	
これからもダンスを踊りたい	3.50	1.157	3.59	1.072	3.80	1.789	4.73	0.647	*	④>①②③

**P<0.01, *P<0.05

校外の教室やレッスンに通っている」と回答した④グループは人数が少なかったため、割愛した。表6・7の表中にF検定と多重比較（Ryan法）を示している。さらに詳細な分析や結果は今後の本格的な調査が必要であると考えられるが、本研究の範囲では以下の結果に注目することができる。まず、男子は、運動部活動参加者などのスポーツに対して積極的な生徒は、ダンスに対しては消極的であるような結果を示しており、その反対に、体育の授業以外ではあまり運動していない生徒、すなわちスポーツに対して消極的であるような生徒が、ダンスに積極的であるという結果を示した。一方、女子は、学校外の教室やレッスンに通っている生徒は、ダンスに積極的であり、学外でダンスを習っていることが推測される。そのような生徒に比べて、学校の運動部活動に参加している生徒と、体育の授業以外ではあまり運動していない生徒はダンスにやや消極的であることが示された。このことは、スポーツ活動の状況や性別などの生徒の特性によって、ダンスに対する積極性が異なることを示しているものと考えられる。

IV. 考 察

1. 生徒の基本特性とスポーツ特性による中学生のマーケットセグメンテーション

生徒の基本特性・スポーツ特性のパターン分類の結

果から、3つのセグメントが抽出された。一つは、女子を中心とした、体力がどちらかと言えばなく、体育の授業以外ではあまり運動をしていないような生徒や学校外の教室やレッスンに通って運動をしているような『優しく面倒を見て欲しい派』であった。また、体育授業好きで体力のある、運動部で熱心に活動していることが予想されるような、1年生や2年生、男子を中心とした『自由にやらせて欲しい派』であった。さらに、体育授業嫌いでも体力もなく、体育授業に対するやる気があまりないことが予想されるような『あまり運動はやりたくない派』としての明確なパターンが抽出された。

これらの異なる3つのパターンはマーケティングの初期段階で抽出すべき対象者の特徴的なパターンであり、セグメントを意味している。したがって、それぞれのセグメントに応じた指導やサポートが重要となる。

例えば、『優しく面倒を見て欲しい派』のような体育授業への取り組みが受け身で体育授業は好きではあるが控えめであるような生徒に対しては、練習メニューや課題をただ与えるのではなく、手厚い指導や特に丁寧な声かけなどが必要なグループで、生徒一人一人に目を向けながらケアしていくことが重要であると考えられる。『自由にやらせて欲しい派』のような1・2年生の男子や運動部活動参加者を中心とし、野球部やサッ

カー部などで精力的に活動しているような生徒に対しては、何から何まで丁寧に手取り足取り指導するのではなく、テーマを与えて作品づくりをさせたり、自分たちでどんどん練習をさせていくというような生徒の自主性を重んじた指導が望ましいと考える。『あまり運動はやりたくない派』は、体育授業嫌いで体力のない生徒がパターンを形成し、授業に対してあまりやる気がないことが予想されるような生徒のセグメントである。ダンス授業の導入においては、リズム体操やエアロビック体操のようにダンスから少し離れた体操的な要素を取り入れた課題を与えてみるなど、まずは、手本の動きを見て自分も同じ動きをするということの楽しさや面白さを知ってもらえるような指導も効果的な方法の一つではないかと考える。さらに図1に示した2軸による分類をみると、「運動好き-学習・面倒見パターン」にも、わずかながらサンプルの分布がみられた。運動好きで学習好きである対象者はいわゆる体育に積極的であり、優等生の像であると考えられる。本研究の分析においては明確なセグメントとしてとらえることができなかったが、今後浮上する可能性があることが期待される。

2. 生徒のダンス観による中学生のマーケットセグメンテーション

生徒のダンス観のパターン分類の結果から、単一化されたパターンとして一つのセグメントが形成された。また、サンプルスコアも同じ空間にまとまった分布を示す結果となった。

この結果は、対象の中学生にはさまざまなダンス観が存在するのではなく、一つの大きなかたまりとしてのセグメントに全体が含まれていることを示している。即ち、対象の中学生においては、各生徒のダンスに対するスタンスが、未分化・未発達であることが考えられる。言い換えれば、中学校でのダンス教育が大きな可能性を秘めているものとも考えられる。一つの単一のセグメントではあったが、そのジャンルや曲、テーマなどは次のように把握することができる。中学生は EXILE が踊っているダンスのような現代的なリズムのダンスを好み、仲間と一緒に自由な感覚でダンスを楽しむことを好む傾向にある。しかしながら、現時点では、EXILE のようなリズムや曲をそのまま用いれば良いということではないと考えられる。指導に当たる者はその点を留意しておくことが必要である。

このような現状にある中学生に対してダンス授業を

展開していくには、現状の必修の時間数や指導形態の中では限界はあるものの、考察1でも示したように、それぞれの生徒の特性パターンに応じた指導を行うというアプローチが効果的であることが示唆された。言い換えれば、今の段階では、ダンスのジャンルや踊りの種類ではなく、生徒に応じた声かけや指導法の検討が重要であると考えられる。

3. ダンス指導に対する新たなマネジメントの可能性

今回、調査対象とした中学生においては、スポーツ活動状況や性別などの生徒の特性によって、ダンスに対する積極性が異なる傾向が示された。

男子は、運動部に入っているようなスポーツに対して積極的な生徒が、ダンスに対しては消極的であり、あまり運動をしないスポーツに消極的な生徒が、ダンスに対しては積極的であることが示された。一方、女子は、運動部に入っている生徒も、あまり運動をしない生徒も、ダンスにはやや消極的であり、学外のレッスンに通っている生徒が、ダンスに対しては特に積極的であることが示された。

一般的なマーケティング戦略には「マスマーケティング」、「ターゲットマーケティング」、「差別化マーケティング」がある¹⁹⁾。

「マスマーケティング」は、ダンス指導であれば一斉指導を行うようなもので、一つの集団に対して同じように指導するということである。「ターゲットマーケティング」は、個別指導のように、できない生徒に対して個別に集中指導を行うというようなことである。「差別化マーケティング」は、それぞれのグループに応じて的確に指示を出し、指導をするというようなことにつながる。どの方式を用いるかについては、ダンス指導の目的や場所、課外活動、レッスン、授業など、状況により選択され、組織の方針によって変わってくるものである。具体的対応については、今後、詳細に検討されなければならない。生徒一人一人の特性を詳しく理解して指導する上で、このようなマーケティングのアプローチは、今後ますます重要になるであろう。

今後は、ダンス観だけではなく、性別やスポーツ特性など、多様な特性と組み合わせでダンス指導のあり方を検討し、さらに踏み込んだ視点での運動者行動研究を行うことが必要であろう。

本研究の結果は、1つの中学校における調査に基づいたものであり、これが中学生の集団特性の全てでは

ない。詳細については、今後、大規模な調査を行うことで実態を明らかにし、学校の授業をはじめとした、様々な場でのダンス指導の可能性について検討していくことが課題であると考え。

V. 結 論

本研究は、「ダンス授業」に焦点をあて、ダンス指導に対するマーケットセグメンテーションの視点から、具体的には、試行的・基礎的に中学生を対象として検討したものである。生徒の諸特性を明らかにするとともに、特徴的なセグメントを抽出し、ダンス指導のポイントや生徒とダンスの関係について考察・検討した。その結果は、以下のように要約することができる。

1. 生徒の諸特性による明確なセグメントが抽出された。

それらは、女子や学校外の教室やレッスンに通う者を中心とする『優しく面倒を見て欲しい派』、男子や学校の運動部活動参加者を中心とする『自由にやらせて欲しい派』、体育授業嫌いや体力のない者を中心とする『あまり運動はやりたくない派』であり、それぞれの生徒の特徴に応じた対応が重要であることを示した。

2. 生徒のダンス観を統合した単一なセグメントが抽出された。

対象の中学生においては、各生徒のダンスに対するスタンスが、未分化・未発達であり、中学校のダンス教育は大きな可能性を秘めていることが伺える。

その一部の特徴から、生徒のダンス観は単一な中にも、EXILEが踊っているダンスのような現代的なリズムのダンスを好み、仲間と一緒に自由な感覚でダンスを楽しむことを好む傾向にあることなどの共通点が示された。

3. 授業をはじめ各種のダンス指導においてマーケティング的なアプローチはますます重要となり、特に本研究のような明確なマーケットセグメンテーションによるきめ細かな対応を明らかにすることの可能性が示唆された。

このようなマーケットセグメンテーションによる検討は、これまでビジネスの手法として用いられてきたが、本研究のようなノン・ビジネスの分野においても応用が可能であり、さまざまな運動者の特徴を捉えるために非常に有効な方法であることが示唆された。

授業やレッスンに対して今後ますます本格的なマーケティング的なアプローチが重要となり、特に本研究

のような明確なマーケットセグメンテーションによるきめ細かな対応の究明が進んでいくものと考え。

本研究の結果は、今後の本格的な大規模な調査への移行を可能にするものと考え。

引用文献

- 1) エイベックス・プランニング&デベロップメント株式会社 (2003) 「ストリートダンスとは?」, <http://www.dance-avex.com/dancemaster/streetdance>, (参照日 2014年9月9日)。
- 2) 畑攻, 山本俊彦 (1985) スポーツ活動に対する態度パターンによるマーケット・セグメンテーション的研究—中学校3年生の選択制授業における分析と考察—, 体育経営学研究第2巻, p.23-32.
- 3) Hata, O, Umezawa, N (1995) Use of Facilities, Equipment, and Programs: A Case Study of a Japanese Fitness Club, JOURNAL OF SPORT MANAGEMENT, Human Kinetics Publishers 9: 78-84.
- 4) 林園子, 畑攻, 池田延行ほか (2009) 小学生における体力の向上及び運動習慣の形成と基礎基本運動の習熟に関する研究, 日本女子体育大学紀要第39巻, p.35-45.
- 5) 石川織江, 畑攻, 田川絵梨 (2011) ストリートダンサーの特性と行動に関する分析と考察, 日本体育学会第62回大会予稿集, p.171.
- 6) 石川織江, 畑攻, 田川絵梨ほか (2012) ストリートダンスのマーケティング, 日本体育学会第63回大会予稿集, p.180.
- 7) 石川織江 (2012) ストリートダンスの基礎的マーケティング, 平成24年度日本女子体育大学大学院修士論文.
- 8) 石川織江, 畑攻, 小野里真弓 (2013) ストリートダンサーの特性及び行動分析からみたマネジメント研究の可能性, 日本体育学会第64回大会予稿集, p.230.
- 9) 石川織江, 畑攻, 八丁茉莉佳ほか (2014) ストリートダンサーの特性及び行動分析からみた研究の可能性, 日本体育学会第65回大会予稿集, p.178.
- 10) 石川織江, 畑攻, 木戸直美ほか (2015) ストリートダンサーの特性及び行動分析からみたマーケットセグメンテーション, 日本女子体育大学紀要第45巻, p.79-90.
- 11) 伊東夕夏 (2006) ダンス系レッスンにおけるサービスプロダクトに関する研究, 平成18年度日本女子体育大学大学院修士論文.
- 12) 前田佳奈, 畑攻, 池田延行ほか (2007) 小学校における都市型連携システムとマネジメント, 日本女子体育大学紀要第37巻, p.75-87.
- 13) 文部科学省 (2008) 「中学校学習指導要領」, http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/chu/hotai.htm, (参照日 2015年9月1日)。
- 14) 文部科学省 (2013) 「武道・ダンス必修化」, http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1330882.htm, (参照日 2015年8月20日)。
- 15) 小野里真弓, 畑攻, 松山善弘 (2010) レッスンビジネス

- におけるベネフィット・セグメンテーションーダンスカンパニーを対象とした分析と考察ー, 日本女子体育大学紀要第40巻, p.11-21.
- 16) 小野里真弓, 畑攻, 小山佳予子ほか(2014)ダンス愛好者の運動者行動に関する研究ー舞蹈学専攻学生のダンス・スポーツ行動分析からー, 日本女子体育大学紀要第44巻, p.27-38.
- 17) 宇土正彦, 佐々木吉蔵, 梅本二郎ほか(1988)体育管理学入門, 大修館書店, 東京.
- 18) Yahoo!JAPAN (2015)「スポーツナビ Do」, <http://dosports.yahoo.co.jp/column/detail/201507280002-spnavid>, (参照日2015年9月12日).
- 19) 山下秋二, 中西純司, 畑攻ほか(2007)スポーツ経営学: 改訂版, 大修館書店, 東京.

参考文献

- 原田曜平 (2014) ヤンキー経済ー消費の主役・新保守層の正体ー, 幻冬舎, 東京.
- 畑攻, 小野里真弓(2006)観戦者の好みのスポーツによるスペクテータースポーツのマーケットセグメンテーション, 日本女子体育大学紀要第36巻, 29-36.
- 池田みどり(2007)テニススクールのサービスプロダクトに関する研究, 平成19年度日本女子体育大学大学院修士論文.
- 池田瑠里 (2004) 競技スポーツ集団に関する組織論的研究, 平成16年度日本女子体育大学大学院修士論文.
- 株式会社アノマリー (2012)「DANCE@WEB」, <http://www.dancealive.tv/what/project/adidas-streetdance>, (参照日2015年9月12日).
- 菅民郎 (2007) 多変量解析の実践: 下, 現代数学社, 京都.
- 岸学, 吉田裕明 (2010) ツールとしての統計分析ーExcelの基本からデータ入力・集計・分析まで, 株式会社オーム社, 東京.
- 公益社団法人日本ストリートダンス教育研究所 (2012)「モデル校: 世田谷区立芦花中学校」, <http://jsdei.com/ro>

- kajhs/, (参照日2015年9月12日).
- 近藤隆雄 (1999) サービス・マーケティングーサービス商品の開発と顧客価値の創造ー, 生産性出版, 東京.
- 小坂知子(2009)スポーツイベントとスポーツ振興に関する研究, 平成21年度日本女子体育大学大学院修士論文.
- 厚生労働省 (2008) e-ヘルスネット「思春期のこころの発達と問題行動の理解」, <http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/heart/k-03-002.html>, (参照日2015年9月12日).
- 前田佳奈, 畑攻, 小野里真弓ほか (2010)「オグシオ」効果とバドミントンの振興に関する研究ー第62回全日本総合バドミントン選手権大会観戦者調査の分析と考察ー, 日本女子体育大学紀要第40巻, p.67-74.
- 文部科学省 (2002)「子どもの体力向上のための総合的な方策について(答申)」, http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/021001a.htm#top, (参照日2015年9月12日).
- 関友作, 萩生田伸子, 高柳良太 (1998) SPSS for Windows のやさしい使い方 基礎編, アトムス, 東京.
- 七類誠一郎 (2010) 黒人リズムの秘密 改訂版, 郁朋社, 東京.
- 周欣明 (2006) 外国人留学生のスポーツ観, 生活観及びスポーツ行動に関する研究, 平成18年度日本女子体育大学大学院修士論文.
- 宇土正彦, 八代勉, 中村平 (1994) 体育経営管理学講義, 大修館書店, 東京.
- 八代勉, 中村平 (2002) 体育・スポーツ経営学講義, 大修館書店, 東京.

(平成27年9月14日受付)
(平成27年12月16日受理)

